

船舶事故調査報告書

平成22年9月30日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲 也

委員 根本 美 奈

事故種類	転覆
発生日時	平成22年5月18日 11時00分ごろ
発生場所	大分県中津市中津港 中津港北防波堤灯台から真方位297° 3,800m 付近（概位 北緯33° 38.0′ 東経131° 12.8′）
事故調査の経過	平成22年5月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等 乗組員等に関する情報</p> <p>漁船 あゆみ丸、0.80トン OT3-12609（漁船登録番号）、個人所有 6.33m(Lr)×1.76m×0.71m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数15、昭和59年11月22日</p> <p>船長 男性 32歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成13年6月11日 免許証交付日 平成18年4月24日 (平成23年6月10日まで有効)</p> <p>甲板員 女性 57歳 受有免許なし</p>
死傷者等	死亡 1人（甲板員）
損傷	全損
事故の経過	<p>本船は、船長ほか1人が乗り組み、建網漁を行ったのち、帰航のため中津港内を約9ノットの速力で風を左舷後方から受けて西進中、船尾方から高波を受け、波の頂上に乗って、速力が速くなり、前の波に突っ込むように右舷側に傾きながら、平成22年5月18日11時00分ごろ転覆した。</p> <p>船長及び甲板員は、落水したのち本船の船底に上がって救助を待ったが、風浪による船体動揺のため、再度、落水して漂流した。</p> <p>両人は付近にあったボンデン（浮子）につかまっていたが、そのうち甲板員は行方不明となった。</p> <p>船長は、19日09時53分海上保安庁のヘリコプターに救助され、甲板員は、21日15時30分ごろうつ伏せ状態で漂流しているところを捜索中の漁船に発見され、その後、死因は、溺水と検案された。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 南東、風速 約7～8m/s、視界 良好</p> <p>海象：波高 約1.0～1.5m、潮汐 上げ潮の末期</p> <p>海水温度 約18.3℃</p>

その他の事項	<p>本船は風波が強くなったので建網漁を切り上げ、帰航を開始して4～5分後に転覆した。</p> <p>船長及び甲板員は、救命胴衣を着用していなかった。</p> <p>転覆場所付近の水深は、約4mであった。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、中津港内において西進中、船尾方から高波を受け、波の頂上に乗って、速力が速くなり、前の波に突っ込むように右舷側に傾いて転覆した可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が中津港内において西進中、高波を船尾方から受けたため、波の頂上に乗り、右舷側に傾いて転覆したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>	